

改修計画書記載例

様式2-1号

改修計画書 [○新規・変更]

申請者氏名		○○○○		整理番号	21-徳改-○○	
施工者 ①		会社名・住所：△△工務店 徳島市△△町1丁目1-1 担当者氏名：□□□□ 施工者等登録番号：□□□ 連絡先：(088) 123-4567				
改修計画書 作成者(設計者) ②		氏名：□□□□ 耐震診断員登録番号： 施工者等登録番号 連絡先：(088) 123-4567 所属会社名等：△△工務店				
技術委員会 承認の要否 ③		・承認が必要(④欄で*印に○を付けた場合) ○承認は不要				
改修設計 パターン ④		○基本パターン(新診断法で改修設計・一般工法) *・特殊パターン-1~3				
診 断 時	上部構造 評点	木造部の最下階		対象住宅の階別構造 ⑤ [凡例] W：木造 RC：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造		
		X方向	Y方向			
		0.68	0.30			
改 修 設 計 時	上部構造 評点	木造部の最下階		3階	・W	
		X方向	Y方向	2階	○W	
		1.45	1.46	1階	○W・RC・S	
耐 震 改 修 計 画 の 内 容 概 要 ⑥	基礎の現況 ⑦	a. 玉石・石積など ○ b. ひび割れのある無筋コンクリート基礎 c. その他(健全な鉄筋及び無筋コンクリート基礎など)				
	基礎に関する措置	(「b」の場合は改善義務あり) エポキシ樹脂によるひび割れ部分の補修を行い、健全な基礎に改善する。				
	壁補強等に関する措置	構造用合板による補強を行う。				
	老朽度に関する措置	軒樋及び塀樋については、詳細な調査の結果建物の劣化に影響がないことを確認した。 柱及び室内壁の水浸みに関しては、雨漏りが原因であると判断し、雨漏り部分の改修を行う。 浴室における腐朽及び蟻害部分の改修を行う。 上記措置により劣化度は0.7から1.0に向上。				
	その他の措置	特になし				
改修工事費用 (予定) (単位：千円)		総額	補助対象工事費		補助対象外工事費	
		1,801千円	1,234千円		567千円	